

挑戦に失敗はない

～ 公務員の僕が避難所で落語をした理由 ～

3年前、倉敷で西日本豪雨が発生した時、公務員の僕は避難所で落語を披露しました。口下手な僕がこの挑戦をしようと思った理由やこの経験を通して学んだこととお話します。当時避難所で披露した落語「時そば」を再現します。



「時そば」

冬の深夜、男が通りすがりの屋台の二八そば屋を呼び止め、かけそばを注文する。男は看板をほめ、割り箸をほめ、さらには器、汁、麺の細さ、ちくわの厚さなどを次々にほめあげる。食べ終わった男は、そば屋に手のひらを出させ、一文銭を一枚一枚数えながらテンポよくのせていく…。さてさて、いったい何を企んでいることやら？

さらには、その一部始終を陰で見ていたもう一人の男がいた…。

講師

公務員落語家

ジャンボ亭 小なん

日時

令和4年2月15日(火)

13時30分～15時

会場

倉敷公民館

2階 大ホール

特別出演

故 車家円陣さんを偲んで 小なんさんの師匠である ジャンボ衣笠さんが 広島弁爆笑落語を披露します！

受講料は無料です。

★電話、または倉敷公民館窓口にてお申し込みください。

★内容変更や中止する場合があることをご了承ください。

お問い合わせ先倉敷公民館Tel.086-423-2135